

JICA研修員の報告会

日本の花き園芸を学ぶため、(独)国際協力機構(JICA)を通じて来日された日系ブラジル人大保広幸マルセロ氏の農林センターでの研修が12月11日に終了し、17日にブラジルへ帰国されました。帰国後は研修成果を活かして家業である鉢物栽培を継ぐ予定になっています。

農林センターでの研修は大保氏の希望により花きの挿し木技術の習得を中心に行いました。また、11月17日から20日には東京、埼玉、千葉、新潟各県の視察を行い、先進農家の花きの繁殖技術を学ぶとともに、鉢物経営のヒントとなるよう植物の特性や経営の特徴に触れ知識の習得にも努めました。



府庁での研修報告会



小田副部長から激励

農林センター